

## ごあいさつ

日頃より皆さまには、弊庫に対しまして格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、わが国の経済は、未だ収束を見通せない新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、輸出や設備投資の減退とともに個人消費が低迷し、リーマンショックを超える不況となりました。その結果、2020年度の実質GDP(国内総生産)は、前年度比4.6%の減少と戦後最大の落ち込みとなりました。

また、勤労者の生活は、一年以上も続くコロナ感染禍の中、生産工場の縮小・休止に伴う一時帰休や雇止め等により、雇用環境の悪化や所得水準の低下など厳しい状況が続いています。

現在では新型コロナウイルスワクチン接種の普及ペースが急速に進んでいますが、この感染禍が長期化すれば、企業倒産がさらに増加するなど景気を一段と下振れさせる懸念があります。

一方、北陸労働金庫を取り巻く環境は、長引くマイナス金利政策により、依然として厳しい経営状況が続いており、経営基盤の強化が最重要課題となっています。また、新型コロナウイルス感染症が社会全体に大きな影響を与えたことにより、キャッシュレス化やペーパーレス化等のデジタル化の進展に拍車がかかり、勤労者の働き方についても在宅勤務やリモートワークの導入等、経済活動から生活に亘る広範かつ大きな変化が求められた一年となりました。

2021年度は第7期中期計画の中間年度として、掲げた3つの柱「①ろうきん理念の実現、②持続可能な経営基盤の構築、③信頼される人財育成と管理態勢の強化」を実現していくため、2021年度の具体的な行動計画に基づき、計数計画の完全達成に向けて事業の遂行と収益改革を更に推し進めます。

また、2021年度は創立20周年を迎える節目の年です。「創立20周年記念事業」を通じて会員・お客さまに感謝をお伝えするとともに、会員と一体となって「借換による可処分所得の向上の取り組み」をはじめとした「生活応援運動」を展開することにより、働く人たちの生活支援に全力で取り組んでいきます。

今後も、勤労者のための福祉金融機関として「使命」・「役割」を果たしていくために、引き続き、3つの改革(職員意識改革・営業推進改革・職場風土改革)を実践し、諸課題に取り組んでいきます。

皆さま方には、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021年 7月

理事長 山岸 克司



### 当金庫の概況

2021年3月末現在

名称：北陸労働金庫  
所在地：石川県金沢市芳斉2-15-18  
設立：1954年5月1日  
(2001年10月1日合併し、北陸労働金庫発足)  
常勤役員数：495人  
店舗数：25店舗(富山県8、石川県10、福井県7)  
事業内容：労働金庫法に基づく預金、融資、為替、  
国債・投信販売など金融業務全般  
出資金：40億16百万円  
団体会員数：1,835会員  
間接構成員数：398,209人  
預金残高：7,923億67百万円  
貸出金残高：4,485億5百万円  
自己資本比率：単体9.29% 連結9.31%  
子会社：(株)北陸労金サービス

### 全国ろうきんの概況

2021年3月末現在

金庫数：13金庫  
店舗数：608店舗  
常勤役員数：11,340人  
会員数：114,940会員  
(うち団体会員数50,139会員)  
間接構成員数：11,670,456人  
出資金：972億円  
預金残高：21兆9,026億円  
貸出金残高：14兆6,374億円

